

MOODY'S

Moody's for Growth and Strategy

データカオスを解消し、的確な営業判断へ

成長に関する課題

膨大でインサイトに欠けるデータ

営業・マーケティング部門はかつてない膨大なデータを手にしています。しかし、これらは断片的で、最新ではなく、信頼性に欠けています。そのため、行動を促すというより、ノイズを生み出しています。

- 信頼できる一元的なソースがないため、アカウントの見え方が部門で異なり、優先順位付けも的外れに
- 営業担当者は顧客対応よりも、データの確認や断片的な情報のつなぎ合わせに時間を取られる
- シグナルに背景情報が欠け、戦略的ではなく受け身のアプローチに陥る

AIの導入が加速するにつれ、こうした問題は深刻化します。ガバナンスの効いた一貫性のあるデータがなければ、各チームは戦略の不整合、生産性低下、収益機会の逸失に直面します。

データに基づくGTM(go-to-market)アプローチ

データに基づくGTMアプローチは、現代の成長推進チームが、レベニューライフサイクルの各段階で、インサイトをアクションへと変換するための明確な道筋を示します。マーケットインテリジェンス、顧客インサイト、業務上のシグナルを組み合わせることで、営業・マーケティング部門は以下を実現できます。

- 市場と企業のより明確な把握
- 有望度の高い機会の優先
- リソースのより効果的な配分
- 共通目標の下での営業とマーケティングの連携

このアプローチは、高品質なデータ、コンテキストを伴うシグナル、および分析結果を組み合わせることで、受け身の顧客対応からインサイトに基づく計画的な実行へと導きます。その結果、成長に向けた取り組みの一貫性と拡張性が高まります。

解決策: Moody's for Growth and Strategy

データの明確さが、営業に自信を与える

意思決定レベルの高品質データ、シームレスな CRM 連携、自律型テクノロジーを組み合わせることで、営業チームが状況に即したタイムリーなインサイトを活用し、案件を的確に見極めて優先順位を付けられるよう支援します。



質の高いデータが基盤

全企業情報の重複排除、データの充実化を行ったうえで、ムーディーズの信頼性のあるデータモデルと厳格なガバナンスに整合した、クリーンで、一貫性があり、継続的に更新される単一のビューを構築します。



ターゲットの的確選定

成長率、新しい資本構成、M&A動向、プライベートエクイティの関与などの情報を基に、ターゲット企業の選定、テリトリーの設計、セグメントの精緻化、および戦略的注力分野の設定を支援します。



会話の糸口の発見

組織再編や所有構造の変化、財務指標、リスク要因、外部シグナルといったインテリジェンスを活用し、アプローチ前に見込み客を深く理解することで、会話の糸口を見つけます。



案件サイクルの短縮

適切な案件に優先順位を付け、次の最適なアクションを示し、営業が費やす時間を最も成約確率の高い案件に集中させることで、案件サイクルを短縮し、成約率を高めます。

Moody's for Growth and Strategyを活用すれば、6億2,500万社をカバーするムーディーズのデータ資産で、勘頼みの判断を脱し、情報に基づく意思決定への移行を支援します。以下のような情報を取得できます。

- 企業属性情報: (ムーディーズID、税務識別子、売上高/従業員数、業種)
- 階層構造: カスタマイズ可能 (運用上の階層と法的階層)
- 連絡先情報: 役職、電話番号、eメール
- テクノグラフィックス情報: IPアドレス、デバイスID
- 所在地、住所、種別
- トレンド/ スコア/ 指標
- 経営陣の変更 (デルタ、アラート/モニタリング)
- ニュースとアラート
- その他

解決策: Moody's for Growth and Strategy

人が作業する場にデータとインサイトを届ける

マルチチャネル配信を介して、意思決定レベルの状況に即したインテリジェンスをエコシステム全体に提供します。



これらを組み合わせると・・・

これらの提供方法は相乗効果で価値を高めます。ムーディーズのデータとインテリジェンスは、計画、実行、および顧客対応のあらゆる場面で利用できます。

ムーディーズとSalesforce

Salesforceとのパートナーシップにより、ムーディーズのグローバルデータと高度な AI 機能をCRMワークフローにシームレスに組み込む統合ソリューションが誕生しました。

ムーディーズのデータでCRMのデータを拡充、リアルタイムで連携し、Salesforce内で先進的な AI を活用することで、営業チームは、案件(商談)サイクルを加速し、ターゲット選定の精度を向上させ、より効果的なエンゲージメントを推進できるようになります。

Salesforce AppExchange および AgentExchange で利用できる当社のソリューション:

→ **Moody's for Salesforce**

Salesforce AppExchange にラインアップされているムーディーズのソリューションは、**Orbis**、**NewsEdge**、**Maxsight**が提供する信頼性の高い企業データ、ニュースアラート、およびコンプライアンス評価をSalesforceのレコードヘシームレスに取り込み、情報を拡充します。

→ **Moody's Sales Acceleration Agent (近日公開予定)**

AgentforceのパートナーソリューションであるMoody's Sales Acceleration Agent は、状況に即したインサイトを提示し、ミーティング準備を自動化し、次取るべき行動を提案します。そのため営業担当者は、アカウントに優先順位を付け、顧客に速やかにコンタクトし、より戦略的なアプローチを構築できるようになります。

ムーディーズのSalesforce連携ソリューション

→ データ拡充と更新: Orbis for Salesforce

企業属性情報と所有構造に関する質の高いデータでSalesforceのアカウント情報を拡充・自動入力。完全な企業グループ構造を可視化し、アカウントの優先付けと拡大を支援します。

→ 特定と優先付け: NewsEdge for Salesforce

予測画面で企業と市場に関するニュースをリアルタイムで表示し、イベント発生やセンチメントの変化をタイムリーにフラグで警告。よりスマートなアプローチを可能にします。

→ オンボーディングと連携: Maxsight for Salesforce

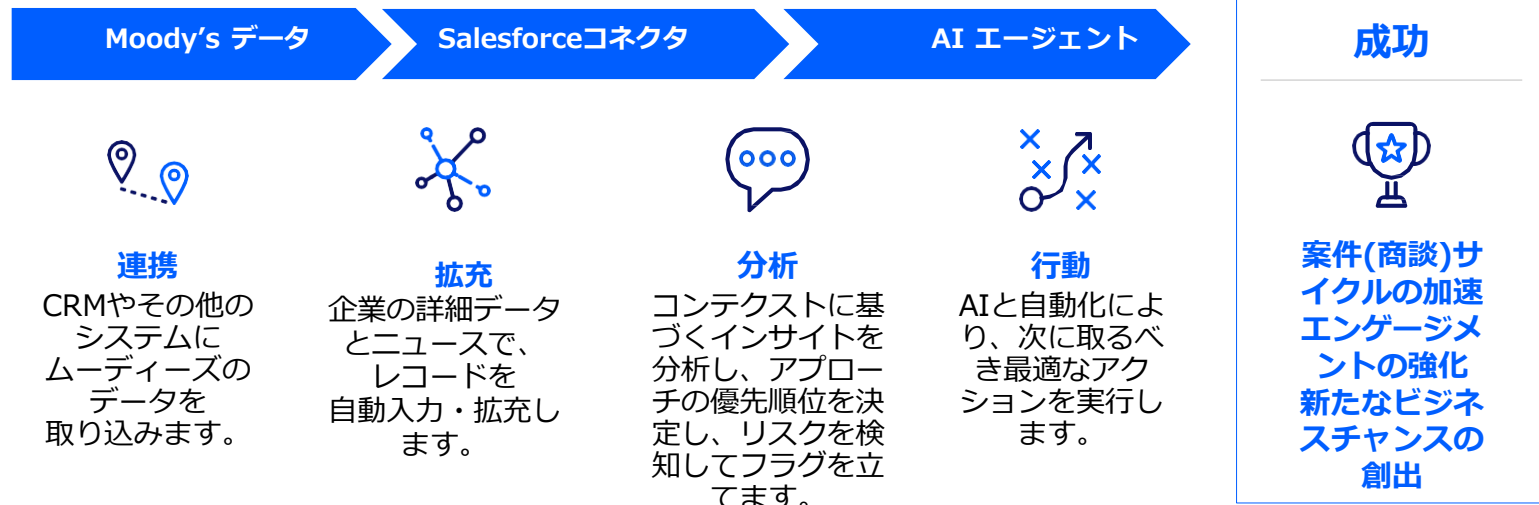
Salesforce内で早期にコンプライアンスリスクとオンボーディングリスクを提示し、業務受け渡しの遅延を削減。案件が進む前に営業とコンプライアンスの足並みをそろえます。

→ 自動化と支援: Moody's Agent

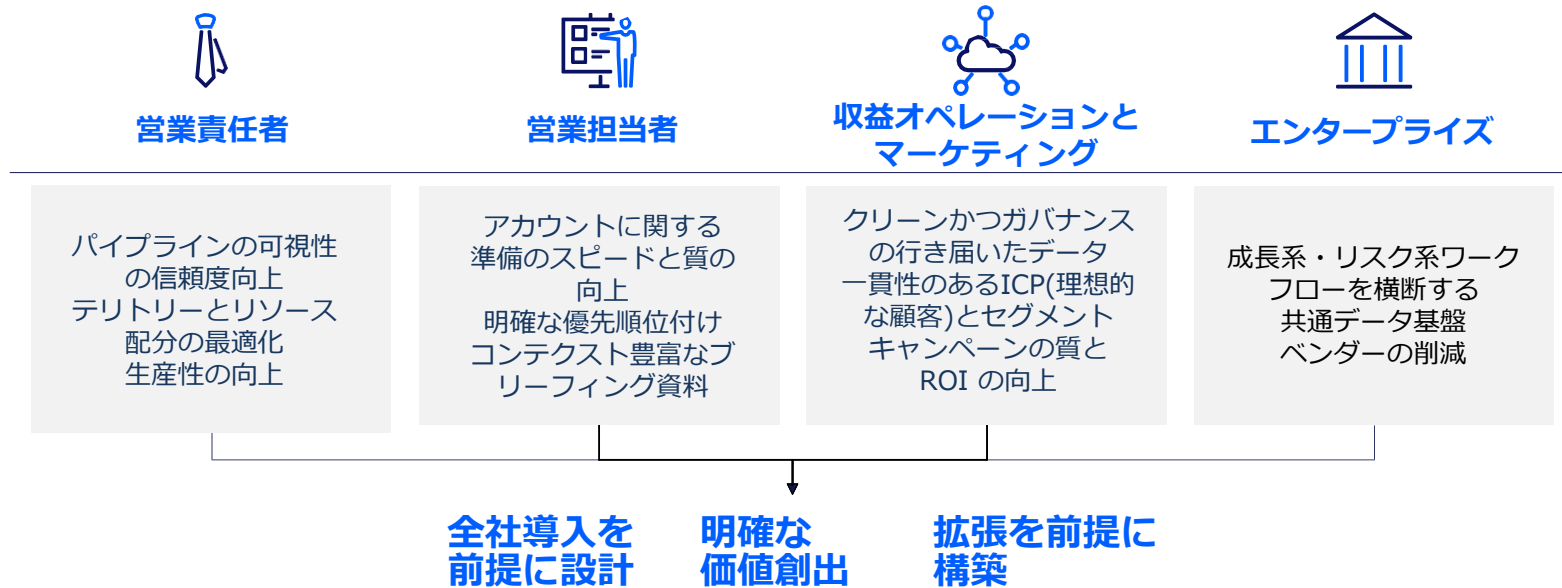
データ、シグナル、履歴をワークスペースに統合。シグナルをAI支援のミーティングブリーフィング資料やアウトリーチ、次善策に変換し、準備時間を短縮しつつ、提案の的確さと案件進行スピードを高めます。

あらゆるものを統合

ムーディーズは、一元化された正確なアカウントデータと AI によるセールスインテリジェンスを組み合わせ、貴社の成功を後押しします。



営業・マーケティングチームに価値を提供



Moody's for Growth and Strategy が選ばれる理由

→ データの網羅性

世界 6 億社超をカバーする比類のないデータベース。競合が見落としがちなグローバル市場まで可視化します。

→ ソリューションの組み込み性

Salesforce のネイティブコネクタや各種デリバリーチャンネルを通じて、ムーディーズのデータとインサイトをシームレスに統合。拡充されたデータと実践的インサイトをそのままCRMに組み込みます。

→ AI エコシステムに対応

広範なカバレッジと長期にわたる一貫性を誇る、コンテキストを伴う拡充されたデータを提供。AI 活用に最適化されたデータを多様な配信方法でご利用いただけます。

→ エンタープライズグレードの信頼性

100 年以上にわたり、金融市場にインサイトを提供するソリューションを開発してきたムーディーズのレガシーを基盤として、成長戦略チームに確かな分析力をお届けします。

MOODY'S

(C)2026年 Moody's Corporation, Moody's Investors Service, Inc., Moody's Analytics, Inc. 並びに(又は)これらの者のライセンサー及び関連会社(以下総称して「ムーディーズ」といいます。)。無断複写・転載を禁じます。

ムーディーズの信用格付を行う関連会社により付与される信用格付は、事業体、与信契約、債務又は債務類似証券の相対的な将来の信用リスクについての、ムーディーズの現時点での意見です。ムーディーズが提供又は使用可能とする資料、製品、サービス及び公開情報(以下総称して「資料」といいます。))は、ムーディーズの現時点における意見を含むことがあります。ムーディーズは、信用リスクを、事業体が契約における財務上の義務を期日に履行できないリスク及びデフォルト事由又は経済的損害(インベアメント)が発生した場合に見込まれるあらゆる種類の財産的損失と定義しています。ムーディーズの信用格付において言及された、契約における財務上の義務の類型に関する情報については、ムーディーズの刊行物である「格付記号と定義」の該当する箇所をご参照ください。信用格付は、流動性リスク、市場価値リスク、価格変動性及びその他のリスクについて言及するものではありません。信用格付、非信用評価(以下「評価」といいます。)及びムーディーズの資料に含まれているその他の意見は、現在又は過去の事実を示すものではありません。ムーディーズの資料はまた、定量的モデルに基づく信用リスクの評価及びMoody's Analytics, Inc.及び又はその関連会社が公表する関連意見又は解説を含むことがあります。ムーディーズの信用格付、評価、その他の意見及び資料は、法律、コンプライアンス、投資、財務又はその他に関する専門家の助言を構成又は提供するものではありません。ムーディーズの信用格付、評価、その他の意見及び資料は特定の証券の購入、売却又は保有を推奨するものではありません。ムーディーズの信用格付、評価、その他の意見及び資料は、特定の投資家にとっての投資の適切性について論評するものではありません。ムーディーズは、各投資家が、相当の注意をもって、購入、保有又は売却を検討する各証券について投資家自身で研究・評価するという期待及び理解の下で、信用格付を付与し、評価を行い、その他の意見を述べ、自社の資料を提供又は使用可能とします。

ムーディーズの信用格付、評価、その他の意見及び資料は、個人投資家の利用を意図しておらず、個人投資家が投資判断を行う際にムーディーズの信用格付、評価、その他の意見又は資料を利用することは、慎重を欠く不適切な行為です。もし、疑問がある場合には、ご自身のフィナンシャル・アドバイザーその他の専門家にご相談することを推奨します。

ここに記載する情報はすべて、著作権法を含む法律により保護されており、いかなる者も、いかなる形式若しくは方法又は手段によっても、全部か一部を問わずこれらの情報を、ムーディーズの事前の書面による同意なく、複製その他の方法により再製、リパッケージ、転送、譲渡、頒布、配布又は転売することはできず、また、これらの目的で再使用するために保管することはできません。明確化のために付言すると、ここに記載されるいかなる情報も、ソフトウェアプログラム若しくはデータベースの開発、改良、訓練又は再訓練のために使用することはできません。これには、人工知能、機械学習、自然言語処理ソフトウェア、アルゴリズム、方法論及び/又は型式が含まれますが、これらに限定されません。

ムーディーズの信用格付、評価、その他の意見及び資料は、規制目的で定義される指標(ベンチマーク)としてのいかなる者による使用も意図しておらず、これらが指標(ベンチマーク)と見なされる結果を生じるおそれのあるいかなる方法によっても使用してはならないものとします。

ここに記載する情報は、すべてムーディーズが正確かつ信頼しうると考える情報源から入手したものです。しかし、人的及び機械的誤りが存在する可能性並びにその他の事情により、ムーディーズはこれらの情報をいかなる種類の保証も付すことなく「現状有姿」で提供しています。ムーディーズは、信用格付又は評価を付与する際に用いる情報が十分な品質を有し、またその情報源がムーディーズにとって信頼できると考えられるものであること(独立した第三者がこの情報源に該当する場合もあります)を確保するため、すべての必要な措置を講じています。しかし、ムーディーズは監査を行う者ではなく、信用格付又は評価の過程で又は自社の資料の作成に際して受領した情報の正確性及び有効性について常に独自に確認することはできません。

法律が許容する範囲において、ムーディーズ及びその取締役、役職員、代理人、代表者、ライセンサー及びサプライヤーは、いかなる者又は法人に対しても、ここに記載する情報又は当該情報の使用若しくは使用が不可能であることに起因又は関連するあらゆる間接的、特別の、派生的又は付随的な損失又は損害に対して、ムーディーズ又はその取締役、役職員、代理人、代表者、ライセンサー又はサプライヤーのいずれかが事前に当該損失又は損害 ((a)現在若しくは将来の利益の喪失、又は(b)関連する金融商品が、ムーディーズが付与する特定の信用格付又は評価の対象ではない場合に生じるあらゆる損失若しくは損害を含むがこれに限定されない)の可能性について助言を受けていた場合においても、責任を負いません。

法律が許容する範囲において、ムーディーズ及びその取締役、役職員、代理人、代表者、ライセンサー及びサプライヤーは、ここに記載する情報又は当該情報の使用若しくは使用が不可能であることに起因又は関連していかなる者又は法人に生じたいかなる直接的又は補償的損失又は損害に対しても、それらがムーディーズ又はその取締役、役職員、代理人、代表者、ライセンサー若しくはサプライヤーのうちいずれかの側の過失によるもの(但し、詐欺、故意による違反行為、又は、疑義を避けるために付言すると法により排除し得ない、その他の種類の責任を除く)、あるいはそれらの者の支配力の範囲内外における偶発事象によるものである場合を含め、責任を負いません。

ムーディーズは、いかなる形式又は方法によっても、信用格付、評価、その他の意見又は情報の正確性、適時性、完全性、商品性及び特定の目的への適合性について、(明示的、黙示的を問わず)いかなる保証も行っておりません。

Moody's Corporation(以下「MCO」といいます。))が全額出資する信用格付会社であるMoody's Investors Service, Inc.は、同社が格付を行っている負債証券(社債、地方債、債券、手形及びCPを含みます)及び優先株式の発行者の大部分が、Moody's Investors Service, Inc.が行う信用格付意見・サービスに対して、信用格付の付与に先立ち、Moody's Investors Service, Inc.に対価を支払うことに同意していることを、ここに開示します。また、MCO及び”Moody's Rating”のブランド名(以下「Moody's Ratings」といいます。))の下で格付を公表するすべてのMCO関連会社は、Moody's Ratingsの信用格付及び信用格付過程の独立性を確保するための方針と手続を整備しています。MCOの取締役と格付対象会社との間、及び、Moody's Investors Service, Inc.から信用格付を付与され、かつMCOの株式の5%以上を保有していることをSECに公式に報告している会社間に存在し得る特定の利害関係に関する情報は、ムーディーズのウェブサイトir.moody's.comの「Investor Relations」にある「Corporate Governance」内の「Charter and Governance Documents」に、「Director and Shareholder Affiliation Policy」という表題で、毎年掲載されます。

ムーディーズSFジャパン株式会社、Moody's Local AR Agente de Calificación de Riesgo S.A., Moody's Local BR Agência de Classificação de Risco LTDA, Moody's Local MX S.A. de C.V., I.C.V., Moody's Local PE Clasificadora de Riesgo S.A., Moody's Local PA Clasificadora de Riesgo S.A., Moody's Local CR Clasificadora de Riesgo S.A., Moody's Local ES S.A. de CV Clasificadora de Riesgo, Moody's Local RD Sociedad Clasificadora de Riesgo S.R.L., 及び Moody's Local GT S.A.(以下総称して「ムーディーズのNRSROではない信用格付会社」といいます。))は、すべてMCOの間接的完全所有子会社である信用格付会社です。ムーディーズのNRSROではない信用格付会社はいずれも全米で認知された統計的格付機関(NRSRO)ではありません。

オーストラリア専用の追加条項:この文書のオーストラリアでの発行は、ムーディーズの関連会社であるMoody's Investors Service Pty Limited ABN 61 003 399 657(オーストラリア金融サービス認可番号336969)及び(又は)Moody's Analytics Australia Pty Ltd ABN 94 105 136 972(オーストラリア金融サービス認可番号383569)(該当する者)のオーストラリア金融サービス認可に基づき行われます。この文書は2001年会社法第761G条の定める意味の範囲内における「ホールセール顧客」のみへの提供を意図したものです。オーストラリア国内からこの文書に継続的にアクセスした場合、貴殿は、ムーディーズに対して、貴殿が「ホールセール顧客」であること又は「ホールセール顧客」の代表者としてこの文書にアクセスしていること、及び、貴殿又は貴殿が代表する法人が、直接又は間接的に、この文書又はその内容を2001年会社法第761G条の定める意味の範囲内における「リテール顧客」に配布しないことを表明したことになります。ムーディーズの信用格付は、発行者の債務の信用力についての意見であり、発行者のエクイティ証券又は個人投資家が取得可能なその他の形式の証券について意見を述べるものではありません。

インド専用の追加条項:ムーディーズの信用格付、評価、その他の意見及び資料は、インドの証券取引所に上場されている又は上場が提案されている証券に関して、インドに所在するユーザが依拠又は使用することを意図したのではなく、また依拠又は使用するものではありません。

セカンド・パーティー・オピニオン及びネットゼロ・アセスメントに関する追加条項(「格付記号と定義」にて定義されています):セカンド・パーティー・オピニオン(以下「SPO」といいます。))及びネットゼロ・アセスメント(以下「NZA」といいます。))は「信用格付」ではないことにご留意ください。SPO及びNZAの発行は、シンガポールを含む多くの法域では規制対象外の活動です。欧州連合(EU):欧州連合では、Moody's Deutschland GmbH及びMoody's France SASがEUグリーンボンド規則の適用規定に従い、それぞれ外部検証者としてサービスを提供しています。日本:日本におけるSPO及びNZAの開発及び提供は「信用格付業」ではなく「付随事業」に該当し、同国の金融商品取引法及関連法令に基づく「信用格付業」に適用される規制の対象外です。

PRC:いかなるSPOも、(1)PRCの関連法令で定義されるPRCのグリーンボンドアセスメントに該当せず、(2)PRC規制当局に提出する登録届出書、募集要項、目録見書その他の文書に記載することはできず、又はPRC規制の開示要件を満たすために使用することはできず、及び(3)PRC内で規制目的のために又はPRCの関連法令で認められていないその他の目的のために使用することはできません。本免責条項の目的において、「PRC」とは、香港、マカオ、及び台湾を除く中華人民共和国本土をいいます。